

令和元年6月
第395号



田植え体験(公民館講座) 5/12



おもな内容

- ・「丸森」「夢づくり」イベント…P2～P3
- ・公民館講座「山菜」…P4～P5
- ・々「田植え体験」…P5～P7
- ・々「シルバー食堂」…P8



“瑞浪北中学ブラスバンドクラブが演奏”
「丸森」来訪者2万人達成・「夢づくり
交付金事業」完了祝賀式 5/1(月)

「令和時代の大湫町が始まりました」

～「丸森」来訪者20,000人達成記念
夢づくり事業「本陣山登山道整備・
米屋修復」完了祝賀会によせて～



去る5月1日、皆様ご案内のとおり『「丸森」来訪者20,000人達成記念夢づくり事業「本陣山登山道整備・米屋修復」完了祝賀会』が盛大に執り行われましたこと、心よりお喜び申し上げます。



当日はあいにくの雨模様で、予定されていた本陣山の登山は中止となってしまったものの、式典に加え、瑞浪北中ブラスバンドクラブの皆さんの演奏やミニSLの運行、餅投げが行われ、令和という新元号の門出を多くの笑顔と共に過

ごさせて頂きました。関係の皆様におかれましては、ご準備ならびに運営くださり、誠にありがとうございました。

当日会場には160余名の方々が来場されたと伺いました。その中には、老若男女を問わず、町の内外も問わずに多くの方がいらっしやり、会場の外に出れば外国の方もお見えになるなど、多種多様な方々が集っておられました。

私が大学時代に学んでいた地理学では、「他人と他人とが交わる場所から町は発展する」ということがよく言われており、今の大湫はまさにそうした場所になりつつあると感じています。地元の方々が守り、磨き続けてこられた文化や自然、営みに魅力を感じる方が大湫に移り住み、その移り住まわれた方が各々の人脈の中で、町の魅力を外に発信し、より多くの方が大湫の魅力に触れることが出来るようになってきています。

私は令和という時代が大湫町にとって



素晴らしい時代になる予感がしています。その予感が現実のものとなるよう全力で応援していきたいと思っておりますので、引き続きの叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。

山下千尋（瑞浪市議会議員）

「丸森」来訪者20,000人達成記念 夢づくり事業 本陣山登山道整備・米屋修復完了祝賀会

丸森が瑞浪市大湫宿の観光案内所として開設してから早くも2年が経過しました。

当日は天候が心配でしたが、多くの町民の方と共に来訪者2万人という記念すべき日を迎えられたことを嬉しく思います。



瑞浪北中ブラスバンドの生徒たちの生き生きとした演奏と、ミニSLや餅投げなどの催しで祝賀会はとても盛り上がりました。

2万人達成できたのも、丸森の玉置施設長をはじめスタッフの方々のおかげです。感謝申し上げますとともに、これからも大湫宿の観光案内所として益々のご活躍を期待しております。

樋田将太（瑞浪市議会議員）

ふれあいサロン開催

“消費生活出前講座”

～悪質商法などの被害にあわないために～

日時：6月22日（土）

10：00～11：00

会場：ふれあいセンターにて

おしゃべりサロン「こぶし」

*コーヒータイム（9：00～10：00）後に開催します。

主催：社会福祉協議会大湫支部
詳しくは配布しチラシをご覧ください。

六月の俳句

降り立てば信濃の風や柳絮飛ぶ
りゅうじよ
安曇野といふ平らかやつばくらめ

山口雪子

六地藏絶やさぬ薄目竹の秋
車椅子の低き目線や春の昼

天野辰代

公民館講座 第1弾

「山菜を楽しむ」春の大湫は美味・珍味

向井 一峰

令和改元の十連休の最終日。5月6日に公民館主催の講座、「山菜を楽しむ」が開催されました。

予報では雨が心配されましたが、幸い穏やかな天候に恵まれ、絶好の山菜採り日和となりました。町内外の親子連れの方々を始め、多くの参加者がありました。



館長先生の諸注意の後、花の森公園を目指して十時出発。午前中はみんなで採取。それを天ぷら、おひたし、あえ物なんかにして楽しもうという企画です。

山菜は大きく分けて木の芽のものと草のものがある。タラの芽、コシアブラ、タカノツメなど木の芽ものはちょっと過ぎた感じ。特に花の森公園は連休中に採られつくされたようで……。でも大丈夫。タラの芽は二番芽があるし、柿の若芽はいい頃、その他にも数日前に町内各所で採った取り置きがあるんです。メインのメニューは何ととっても揚げたて天ぷら。コシアブラ、タラの芽は胡麻あえ。ガーリックバターソテー。なんてのもグー。

街の人は、草のものはワラビ以外はほとんど採らない。若芽の柔らかいところを摘めばまだまだ大丈夫。アクが強いヨモギ、ワラビ、タケノコも天ぷらなら即オッケー。



今回のチャレンジ。とげとげアザミと雑草の女王様ヒメジョオンの若芽。アザミは天ぷらで棘も気にならないし甘くておいしい。ヒメジョオンも思ったよりいける。これなら日本中の道端は山菜だらけだ。

ハイライトはウルイ（オオバギボウシ）。じめっとした所に群生しているし、株が大きいのでたくさん採れる。さっと茹でて酢味噌あえ。葉っぱが開く前なら、ちょっと味噌をつけて生で食べるのが最高。注意しなくてはいけないのが、同じようなところに生えている有毒なミカワバイケイソウと間違えること。春の山菜の事故では多いケース。葉っぱの付き方や葉脈の違いで見分けられるけど、自信のないものは取らない。

「呑み助」の友は何といっても野蒜（ノビル）。裏田（大湫宿の南にある圃場）の畦道とか、あちこちに生えているけど、肝心の球根は深いところにあるので、掘る道具が必要。湯がいて酢味噌あえもいいけれど、やっぱり生に味噌を付けてが一番。

他に、イタドリ、ユキノシタの天ぷらが好評。ウド、セリ、トトキ（ツリガネニンジン）、ピーピー豆（カラスノエンドウ）、ギシギシの若芽、アケビのツル、イワガラミ、ウコギ、クルミの新芽。今回はちょっと成長し過ぎてたけど、カンゾウ、コゴミなども美味しい。

こうしてみると春の大湫は美味珍味だらけ。タダだからといってバクバク食べるものではないけれど季節を味わう贅沢。最高。

公民館講座 第2弾

ヌルっとした感覚、なんとも言えませんねー 「手植えによる田植え」

5月12日(日)、イネ（もち米）を手植えする体験講座が大湫町の「みんなの農園」（棚橋雅美氏所有）で開催されました。41名の参加者と指導者などのスタッフ約30名、総勢70名の参加。儀式など特別の場合にしか見られなくたった手で植える田植え、この様子を見ようとする方も田んぼの周りに集まります。釜戸小学校の土屋校長も…。

畔（あぜ）に並んだ“植え手”に指導を担当された長谷川達二氏から身振りを交えて説明。「イネは分けつを盛んにします。一本の苗からたくさん分かれて、それぞれから穂が出るようになるんですよ。だから苗を3, 4本取り出して、こうして植えます」。



田んぼに入るのを嫌がって一緒に参加されたお父さんに抱き付き離れようとしないう子、ゲンゴロウを見つけて、水槽に取り込む子、手慣れた様子でどんどん植えてゆく子、足が抜けにくくバランスを崩し、田んぼの中に尻もちをつく子、…。

ボランティアで駆けつけてくださ

った、大湫町や釜戸町の大人たちも田んぼに入って一緒に田植え。植え忘れた場所や浮いてしまった苗、一か所にたくさん植えすぎたところを直しながら、戸惑っている子ども達に丁寧に指導されています。

手持ちの植え苗が無くなった人から、「苗ちょうだい」と声がかかると、「いいか！ほーるぞ！」。「ちゃんと捕らんと悲惨なことになるぞ」と、別の人から声が…。にぎやかです。コントロールを乱し（キャッチミスかも？）、手前にポチャリ。泥水が跳ね、ほんとに悲惨なことになった人も現れ、笑いがおきます。



大勢の植え手で、水田約 700 m²の田植えは予定より早く終了。初めて田植えを体験した人は、一様に「昔の人は大変だったんだ」と感想を語られました。大変だからこそ、協力と共同の風習や保障する組織が生まれたことが実感されたようでした。

秋には、手刈りによる「稲刈り体験」も予定されています。さてどれぐらい収穫があるか楽しみです。

「田植え体験に参加して」

岐阜高専建築学科 櫻木耕史

田植え体験に参加させていただきありがとうございました。はじめにご準備をはじめ、この体験を運営していただいた大湫の多くの関係者の方々に感謝申し上げます。

田の土を手、足、顔、匂いで感じ、また水生昆虫を目の前で見て、子ども時代に近くの田んぼで遊んだことを思い出しました。また、植え方にも先人の偉大な工夫があることに、実体験を通じて知ることができ、とても得がたい体験でした。

さらに、大湫の人々のつながりの強さに感動をしました。今回体験させていただいた様な取り組みでは、指導する立場の人材確保が困難となっ

ている地域が多いのが現状です。これは私が地域での子ども達の学びの場の研究を始めた25年前からほぼ変わっていません。今回これほど多くの町の方が指導される立場で参加されているのをみて、この人々のつながりこそ、大湫の大きな宝であると感じました。

人口が都市へ集中していった1980年代以降、農山村を救ったのは稲作の機械化と言われています。農業機械は、都市へ出て行った若者の労働力を補いました。それだけでなく、高齢となり営農が継続できない方々の農地を、地域に住む方々が協力して機械の力を借りて維持していくことができたことも重要であると指摘されています。このことは、昔から大切にされてきた人々のつながりである「^{ゆい}結」が、必要性をもってそのまま維持されたといえます。

今回の体験を通じて強く感じたのは、農山村を守っていくのに必要なのは、機械ではなかったということです。田植え体験という、そもそも私たちの生活の源となる農地を守るために、大湫に関わりのある方々が戻る、これがきっかけで大湫の生活を知り、仲間ができ、みなと共に受け継がれていくことが、この先の大湫の発展における最大の鍵になると信じています。

次に田植えに参加した学生諸君の感想も記しておきます。

- ・田植えをしていると、全く知らない人でも作業をしながら話したりすることができてよかった。
- ・農業というものは地域共同でやるものであることが、昔、様々な地域において、人々がまとまっていた理由の一つではなかろうかと思った。作業を通じて従事した人々の間で話が生まれるきっかけになっていることがよく分かりました。
- ・楽しそうにしている子が多かったが、泣いている子もいた。今後この体験についてどう感じ、どう記憶に残るのだろうかと思った。
- ・屈みながらの作業は想像以上に重労働で、翌日筋肉痛になった。農業の大変さが分かり、お米をつくっている人への感謝の気持ちが湧いた。



公民館講座 第3弾

舌鼓とおしゃべりで時間を忘れて 「シルバー食堂」

「シルバー食堂」を開店しました。5月16日（木）、18名の方が公民館ロビーにいらっしやいました。集まったシルバーの方は、開店前のひと時をロビーでおしゃべり。この日、瑞浪市食生活改善推進協議会の協力により「シルバー食堂」（大湫公民館主催）が開店となりました。メニューは簡単豚肉風とナメコの味噌汁、キャベツとワカメのサラダ。「このサラダにち



よっと何か欲しいね」「オイシイいよね。作り方を書いたものないかね」。ワイワイとにぎやかに話が弾みます。一人暮らしをされている高齢者が大湫にも多くなりました。ヒトとして食べることは生きてゆく上の基本。どんな生き物も食べることは生きること。

だが、食べることは人にとって、喜び・楽しみ・いろどり・生きがい。会食することは、人と人のつながりを強め、胸襟を開く場ともなります。孤食はこの人間らしさの営みを奪っているとも云えます。

「閉店」時間となっても席を立とうとしない人生の大先輩達。楽しく、そしておいしく食べていただけたようです。「『レシピはもらえますか？』とか『またやってもらいたいね』って言われ、よかったです」と。今回の

「シルバー食堂」を“開店”にまで漕ぎ付けてくださったのは大湫町の有志の皆さん。そして瑞浪市食生活改善推進協議会関係者。多くの方々の協力に感謝。

ありがとうございました。



5月の丸森だより

5月26日まで

訪問者	町外		町内		合計	その内 (外国関係)	
	大人	幼小中高	大人	幼小中高			
	704	77	178	26	985	80	
						H31,4月～	2,237人
						オープンから	23,219人

(団体)

* Walk japan(6回)、Rawトラベル(4回)、ツーリズム(2回)、歩く会、多治見の施設・・・15 団体
(165人)

(個人)

- * 中山道踏破の旅人が多かった(20日以降は高温注意報のためやや少ない)。
- * 土日には車で大湫宿を目指す人や“五平”のお客さんが目立つ(1日に60～70人ほど)。
- * 三戸さんの実演のチャンスに出会った方は大変喜ばれた。

今月の出会い

- 5/1・・・20,000人達成イベントで瑞浪北中のプラスバンドクラブの演奏が聴けた。
- 5/25・・・時代小説「一路」の作者である 浅田次郎先生が訪れる。



瑞浪市長水野氏の
学生時代の同期生(6人)で
丸森へ来訪。

- 5/23・・・オーストラリアからお便りが届きました。



5月の連休に丸森に立ち寄られたご夫妻、
中山道の旅を終えてオーストラリアに
帰られました。
5/14に投函されたお便りが10日間の
旅を経て5/23ごろ届きました。
よき出会い、よきおもてなしになりました。

- 5/22・・・三戸さんの竹細工(丸森邸)制作の様子を参観できて喜ばれた。



4月中旬から丸森邸
(縮尺 1/50)の制作を始め、
完成間近である

「令和」の時代始まる

地球が誕生して四十六億年、そして人類が生まれて約三百万年と言われている。興亡を繰り返して来た歴史がある。氷河時代も、灼熱の時代も生き残って来た。そして現在、七十億人が住んでいると言

う。
先進国もあれば、アフリカ大陸のような後進国もある。アジア地区には、十三億人の中国や、十二億人に迫る人口大国で、成長著しいインドがある。何処も人口増加に苦しんでいる。

そんな中で、日本は人口減少時代を迎えている。地球上の半数が住んでいるアジア地区の発展が課題として注目されている。

先の大戦で、日本には東洋の盟主として「共栄圏」を築く構想があった。敗戦に終わったが、そのお陰で欧米の植民地だった国が独立し、国づくりに取り組ん

で来た。

「桃太郎」のおとぎ話ではないが、「鬼退治」は夢物語であったが、現実だったから日本は素晴らしい国になっていたと思う。

「明治・大正・昭和・そして平成」の時代となったが、近隣国との友好は今なお進んでいない。アメリカと友好条約を結んで、その傘の下で安全だと言っているが、何時ミサイルが飛んで来るか、「戦々恐々」の中に暮らしている。

そして日本の防衛費は五兆円を超えた。大国中国の軍事費は年々増大している。北朝鮮は、依然としてミサイルの発射を続けている。

現在、アメリカとロシアを頂点に核保有国は年々多くなっている。その中、理性を失ったリーダーによって「ボタン」が押されたら大変な事になる。

二発の原子爆弾を投下され、多くの人

が犠牲となった被爆国日本こそ、核兵器廃絶の声を大にしなければならぬのに、声が小さいのはどうした事であろうか。

政界も経済界も「今だけ」「金だけ」「自分だけ」と言っているが、我が国の少子化と高齢化は、世界でも例を見ない。危機的な人口の減少する時代に突入している。我が国の前途は、国の発表する各種のデータより悪いと思えば間違いない。

これからの若者達に希望と夢を持たせるために、昭和を生きた大人達が、平成三十年間を自分達さえよければと生きて来た事を反省する時に来ている。

やがて発行される一万円札、日本経済の礎を築いた渋沢栄一翁から、おほめ頂けるような「令和」の経済になることを祈りたい。

文責 天野長三郎



せらおの 2019年
6月の集まるう会

大秋町コミュニティ
推進協議会
集まるう会

- ★ 6月の太鼓は.....
- 練習日 ----- 6月1日(土)午前 9時30分
太鼓の後、10時30分～11時30分「まっ茶を楽しみましょう会」を、やります。花の森の東屋です。
会費大人100円、子供無料です。みなさんどうぞ!!
 - 夜の練習は ... 6月10日(月)、6月17日(月)
午後7時～午後8時30分です。おもに「大杉」を練習します。
 - 「きなあた瑞浪」で太鼓出演をします。
日時：6月15日(土)午前11時～です。
集合：きなあた瑞浪 午前10時30分です。
- 証誠寺の狸
ほやし。
かごめかごめ
楽(らく)
3曲やります

★ かしわや、オーブンは6月8日と6月22日(土)です。

ヤ〜ッ!
ポーズがきま
ったね

頑張って練習
するよ

まずは、「きなあた」
の発表頑張ろう

太鼓練習・サツマイモ苗植え 5/18



おいしいサツマ
イモができると
いいなあ...!

おおきく、おお
きくなあ〜れ!

まちづくり・公民館からのお知らせ

リ・アップ“ひよも”だより

フラダンスの予定

6月のお茶のみ会のおさそい

日時：6月5日（水曜日）

9：30～11：00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費： 50円

お待ちしております

青色回転灯防犯パトロール

6月のパトロール予定者

6/上旬：足立 亘,奥村 寛

6/下旬：三戸憲和,渡辺貴憲



月に2回パトロールしています！

デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

4月：44便 延べ104名

オススメ！大湫分室の本『空き家を活かす』

松村秀一：著

最近問題になっている空き家。空間資源を楽しく活かして、人口減少社会に挑みます。空き家で遊んでみると、様々なアイデアが生まれます。建物の魅力を再発見できる本です。

○：6月2日（日）

長寿会奉仕作業

○：6月8日（土）

花の森遊歩道整備作業

○：6月16日（日）

夏季奉仕作業

“気温が上昇します。熱中症に気をつけて作業してください”

*大湫宿お休み処

6月の営業は2日（日）・9日（日）・16日（日）・23日（日）・30日（日）です。

皆様のお越しをお待ちしております。

☆当日（急ぎ）の予約は丸森へお願いします。Tel：0572-63-2455

*おしゃべりサロン「こぶし」（100円コーヒー）

6月営業日 第2・第4土曜日

営業時間 AM9：00～AM11：00

営業場所 ふれあいセンター



区長日記

五月一日実施いたしました記念イベントは、雨天にもかかわらず、瑞浪北中学校ブラスバンドクラブをはじめとする協力者の方々、町民有志の方々のご支援により、令和元年の出発に相応しい夢のある行事にさせていただきました、役員のひとりとして大変嬉しく思いました。

その後、私は風邪をこじらせて肺炎を併発し、二週間ほど床に就くことになりましたが、その間も関係者の皆様のご尽力により、春を食する会、「オオクテ・ツクルテ」実行委員会、区長会・幹事会、田んぼの学校など、諸行事をこなしきっていただき、大湫町のホームページの記事を見たり、参加者の皆さんの感想をお聞きすると、大湫町が着実に令和の時代を前進しているのを感じ、心温まる思いをしました。

先日神田地区では、中山間地域総合整備事業により農地の再整備に取り組むための勉強会が開催されましたし、今年には若い世代の意見を地域の活性化に活かそうと、丸森の

委託事業として地域マネージャー事業も開始されることとなりました。

こうした事業をきっかけとして、一人でも多くの皆さんが、「大湫は年々少しずつ良い方へ向かっているのではないか」と思えるような活動を、一つひとつ積み重ねて行きたいと思えます。

区長会長 足立

5月1日 「丸森」二万人突破関連町内イベント

1日 「田んぼの学校」打合せ会

14日 社会福祉協議会 大湫支部会議

15日 神田地区中山間地域総合整備事業勉強会

17日 大嘗祭奉納田「御田植祭」打合せ会

18日 町民ターゲットゴルフ場整備活動・森林組合総会

19日 青少年育成市民会議

21日 大嘗祭奉納田「御田植祭」

26日 モニタリング調査

31日 町内芸術家懇談会

令和元年六月行事予定

日	曜	予	定
一	土	集まろう会太鼓練習	
二	日	長寿会奉仕作業	
三	月	財産区全員会議	
四	火	リ・アップ「ひよも」	
五	水	定例区長・幹事会	
六	木	おしゃべりサロン／かしわや営業	
七	金	花の森遊歩道整備	
八	土	市消防操法大会	
九	日	集まろう会太鼓練習	
十	月	青少年育成町民会議	
十一	火	集まろう会太鼓出演「きなあた瑞浪」	
十二	水	夏季奉仕作業／市主張大会	
十三	木	集まろう会太鼓練習	
十四	金	竜吟幼児園保育参観	
十五	土	瑞浪北中授業参観	
十六	日	おしゃべりサロン／かしわや営業	
十七	月	ふれあいサロン（社協大湫支部）	
十八	火	モニタリング調査	
十九	水	釜戸小授業参観／結核検診（足又）	
二十	木	広報委員会	

今月の資源ごみ:6/19(水)不燃ごみ:6/6(木)

編集後記



夏野菜の植え付けも終わり、早いもので今年ももう半分に達しようとしています。

ます。そして梅雨の季節。

梅雨といえど、「梅雨寒」「梅雨冷」

「梅雨晴れ」「梅雨の中休み」「梅雨の

晴れ間」等々、特徴はそれぞれ。

日照不足で湿度の高い日が続くと

野菜は軟弱に生育し、病気が発生し

やすく成長もそれぞれ。

私たちもこの時期は暑さよりも、

湿気が不快に感じる季節・・・。雑

草だけが、活き活きと育つ！

消化吸収の良い食事や冷たい物を

取りすぎないよう心がけ、

この時期を乗り切りた

いですね・・・y



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和元年6月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>